

4-2 都市再生整備計画 事後評価シート
宮市・国衙地区

平成25年3月

山口県防府市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	防府市		地区名	宮市・国衙地区			面積	220ha					
交付期間	平成20年度～24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	1,250百万円		国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名													
			基幹事業	道路(車両系誘導看板)、高質空間形成施設(舗装整備、電線類地下埋設施設)、高次都市施設(観光交流センター)												
	当初計画から削除した事業		提案事業	景観保全形成推進事業(国分寺白壁)、安全・安心推進事業、地域支援ガイド育成事業、まち並み景観保全育成事業												
			基幹事業	なし												
	新たに追加した事業		提案事業	なし												
			基幹事業	地域生活基盤施設(情報板)		来訪者への積極的な情報発信のため				観光客への情報発信を推進することにより、観光客の回遊性を高めることに寄与する。						
交付期間の変更		当初	平成20年度～24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-									
		変更	-		-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値				目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング		評価値								
						実施年度	実施年度									
	指標1	観光交流センター付近の自転車・歩行者数	人/日	100	H19	200	H24	1:18	H22	209	H24	○	あり なし	観光交流センターまちの駅「うめてらす」の開設と舗装整備と電線類地下埋設施設の整備により自転車・歩行者の通行量が増加した。	平成25年9月	
指標2	景観およびまちづくりに関する満足度	%	46	H18	56	H24	50	H21	54	H24	△	あり なし	● 事業中のため、全ての効果が現れていないが、景観等に対する満足度は着実に向上している。	平成25年9月		
指標3	主要観光施設への観光客の入り込み数	万人/年	62	H18	70	H24	67	H21	72	H23	○	あり なし	観光交流センターまちの駅「うめてらす」の開設との相乗効果で、主要観光施設への観光客の入り込み数の増加につながった。	平成25年9月		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値				目標達成度※	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			単位	基準年度	目標年度	モニタリング		評価値								
4)定性的な効果発現状況																
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング		事業の成果を把握するため、都市再生整備計画に関するアンケート調査を実施し、景観をはじめとした市民の評価の検証を行っている。また、観光交流センター付近の歩行者・自転車の通行量調査を実施している。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				○		事業効果を把握するため、必要な時期に実施する。			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				○					
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス		景観整備に際して、地区住民と意見交換を行い、住民意向を反映した整備を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				○		景観の維持向上のための住民参画の場を確保する。			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				○					
都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった																
持続的なまちづくり体制の構築		歴史的資源やまち並みなどの観光資源を紹介し、観光客へのおもてなしの演出や観光客の入り込み数の増加を促進させるための観光ガイドの育成を実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				○		観光ボランティア養成講座の運営主体の主体的な活動に任せて、市は支援に徹する。				
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

宮市・国衙地区(山口県防府市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
大目標 「歴史を活かしたまちづくり」の実践 ① 観光客の入り込み数および滞在時間の増加 ② 快適で安全な歩行者空間の創出 ③ 守り育ててきたまち並み環境の保全	観光交流センター付近の自転車・歩行者数 単位:人/日	100	H19	200	H24	209	H24
	景観およびまちづくりに関する満足度 単位:%	46	H18	56	H24	54	H24
	主要観光施設への観光客の入り込み数 単位:万人/年	62	H18	70	H24	72	H23

・観光交流センター
まちの駅「うめてらす」の整備



・電線の地中化
及び修景舗装の整備





■ 提案事業 地域創造支援事業
【観光交流センター】

■ 提案事業 地域創造支援事業
【景観保全形成推進事業】

■ 提案事業 まちづくり活動推進事業
【地域支援ガイド育成事業】

■ 提案事業 事業活用調査
【安心・安全推進事業】

■ 提案事業 事業活用調査
【事業効果分析調査】

■ 基幹事業 高次都市施設
【観光交流センター(まちの駅)】

■ 基幹事業 高質空間形成施設
【電線類地下埋設施設】

■ 基幹事業 高質空間形成施設
【修景舗装整備】

■ 基幹事業 道路
【車両系誘導看板】

■ 基幹事業 地域生活基盤施設
【情報板】

計画区域220ha

S=1/15,000

・車両系誘導看板の整備



・情報板の整備



凡 例

■ 基幹事業 (Yellow box)

■ 提案事業 (Blue box)

まちの課題の変化

- ① 歴史的観光資源を繋ぐための拠点及び市民と観光客とのふれあいの場として、観光交流センター(まちの駅)「うめてらす」が整備されたことによる観光客の入り込み数の増加と、情報板の整備により回遊性の向上が図られている。
- ② 旧山陽道での修景舗装と電線類地下埋設施設の整備により、歩行者等の快適性の向上がみられる。
- ③ 修景舗装や電線類地下埋設施設の整備により、旧山陽道や萩往還沿いの歴史的なまち並みが再生されつつある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・観光交流センター「うめてらす」と周辺観光施設との連携強化を図る必要がある。
- ・歴史的なまち並みの維持向上を図る必要がある。
- ・さらなる歩行者、自転車通行の安全性の向上を目指す必要がある。